

精密総合健診（人間ドック）

動 向

平成25年度の人間ドックの受診者数は、9,983名（男性6,008名、女性3,975名）で昨年度より43名減少した。健康保険組合の財政悪化により人間ドックの補助金の縮小や廃止などが、その要因として考えられる。

当協会は、施設が外部の目を通して一定の水準を得ているかを自ら確認するために、日本人間ドック学会が実施している「人間ドック健診施設機能評価」に参加しその認定を受け、また、日本総合健診医学会からも「優良総合健診施設認定」を受けている。

受診者サービスの向上のために、ICT（情報通信技術）を活用した誘導システムを導入し、全てのフロアを通じて検査ごとの待ち人数や待ち時間を把握し、効率的に次の検査に誘導することが可能となった。また、最新のデジタルオーダーリングに連動した、検査実施と検査結果をリアルタイムに記録するシステムに変更し、安心、安全、快適な受診環境の整備に努めている。

方法と結果

年度別受診状況では、平成19年度をピークに減少傾向で平成25年度も男女とも微減した（表1）。

受診者前歴（表2）をみると引き続き男女とも継続受診は多いが、新規受診者をいかに獲得できるかと翌年の継続受診につなげることができるかが受診者数の維持には必要と考えられる。また平成25年度は5年連続受診者のみが減少しており、特定団体の抜けが予想される。

総合判定区分内訳（表3）をみると、「異常なし」、「心配なし」を合わせても男性0.9%、女性2.7%とわずかである。治療中も含めさらに検査や受診が必要な再検以上の区分の受診者は男性64.4%、女性55.6%で例年過半数を占めている。

がんの新規発見を臓器別にみると（表4）、前立腺がんが5名、大腸がん、腎臓がん、乳がんが各2名、胃がん、食道がんが各1名、ヘリカルCTによる肺がん3名だった。人間ドックのがん検診全国集計によると、男性は胃がん、大腸がん、前立腺がん、肺がんの順に多く、女性では乳がん、胃がん、大腸がん、子宮がん、肺がんの順であった。全国統計と比較すると当協会では前立腺がんの発見率が高く、大腸がんや子宮がんで低めの傾向がみられる。前立腺がんは平成24年度0名であったが、25年度は例年どおりの発見数であり年度によるバラつきはあるものの、検診での発見率が高いがんとと言える。PSAに

よる前立腺がん検診は男性受診者6008名中2097名（34.9%）が受けられ、PSA検査の実施率は増加した（表5）。一方、胃がんの発見が平成25年度は少なかったが、単年度だけではなく今後の傾向をみたい。また内視鏡検査での胃検診が増えており、今後は早期胃がんの比率が増えることが予想される。

年代別の検査データ平均値（表6）では例年と大きな変化はみられない。白血球数は喫煙率が高い壮・中年男性でやや高く、貧血検査は男性で加齢とともに数値が低下するが、女性では50歳代で反転増加する。腎機能の指標eGFR（推算糸球体濾過量）は、男女とも加齢に伴う低下が著明である。生活習慣関連（肥満度、腹囲、トリグリセライド、尿酸、AST、ALT、 γ -GTP、空腹時血糖、HbA1c、血圧）では全項目において、ほぼ全ての年代で女性よりも男性の方が高値で要観察以上の割合も多い（表7）。最も有所見率が高いのは脂質異常で男性51.1%、女性39.7%であった。特に男性は40・50歳代を中心に肥満度、中性脂肪や γ -GTPが高く、腹部エコーで4割以上に脂肪肝がみられている。アルコールの影響のほか車利用や遅い夕食など不規則な生活環境も内臓脂肪型肥満および脂肪肝を増やす原因と考えられる。女性はLDLコレステロールの上昇が更年期を境に顕著になり、平均値でも男性を上回るようになる。

画像診断系の結果では、胸部X線・CT検査と胃部X線検査における有所見率が読影医師の変更により若干変わり、胸部検査での有所見率と胃部検査での精検率がやや減少した（表7、9、11）。腹部超音波検査では（表8）、各臓器（胆のう、肝臓、腎臓、膵臓）とも女性に比べ男性で有所見率が高く、特に脂肪肝は男性43.2%にみられ女性17.5%に比べ2.5倍であった。その他、胆のうポリープ（16.2%）、腎石灰化（27.2%）、腎のう胞（16.9%）、肝のう胞（14.5%）、大動脈石灰化（25.5%）が頻出所見である。安静時心電図所見内訳（表10）は例年とほぼ同じ傾向であった。

平成26年度は個人対応と事後フォロー充実のためのシステムを構築中である。再精検や受診の勧奨や健診後の状況確認を徹底することで受診率向上と正確な調査が期待できる。また受診者のプロフィールを入力・参照する画面も作りこみ、個々の生活環境や健康観なども考慮して判定や相談、オプション検査の推奨、健康支援プログラムのお知らせを行うなど、今まで以上に充実した個人対応を目指す。

関係の集計表は126頁に掲載